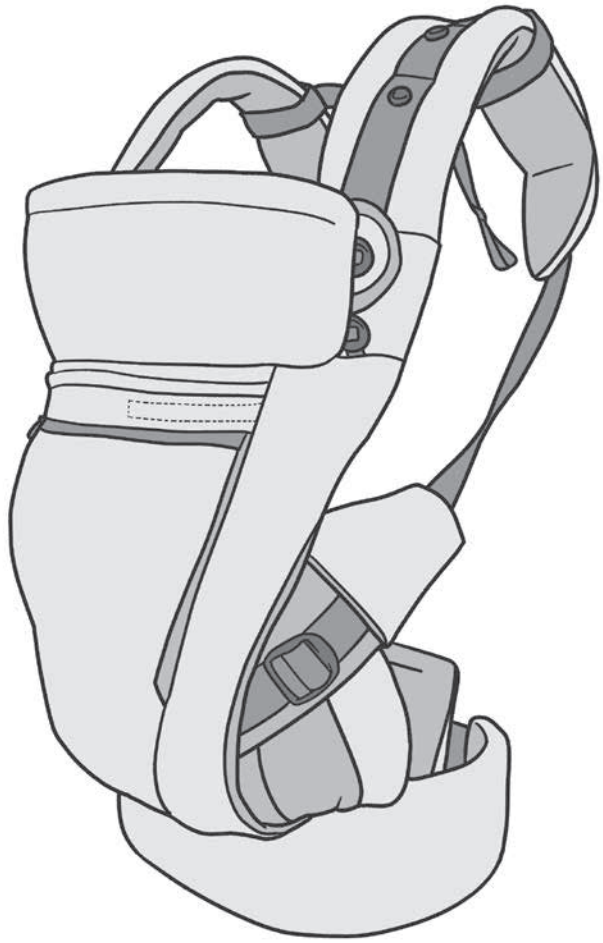
LuCky 1934

取扱説明書

fuwa hug

フワハグ



使用できるお子さまの月齢と体重	対面抱っこ	生後14日（体重3.2kg以上/身長51㎝以上）～ 24ヵ月（体重13kg）まで ※0ヵ月から1ヵ月まではSGマーク制度の対象外です。
	前向き抱っこ	腰がすわった乳児期（7ヵ月頃）～ 24ヵ月（体重13kg）まで
	おんぶ	首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～ 36ヵ月（体重15kg）まで
	※お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります。	
使用者対応サイズ	ウエストサイズ	約54㎝～112㎝　※体格等、個人差によって装着できない場合があります。

この度は本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管してください。
本製品を他の方にお譲りになるときは、
必ず取扱説明書もあわせてお渡しください。

使い方動画はこちら。

目　次

使用できるお子さまの月齢 …… 表紙

各部の名称 …… P1

安全にお使いいただくために …… P2

お手入れ方法 …… P3
品質保証（アフターフォロー）について
SG マーク制度について

装着前準備 …… P4

ウエストベルト装着方法 …… P5

対面抱っこの装着方法 …… P6～9
フィットベルトを外してショルダーを装着する方法
余ったショルダーベルトの収納方法

対面抱っこチェックリストと降ろし方 …… P9

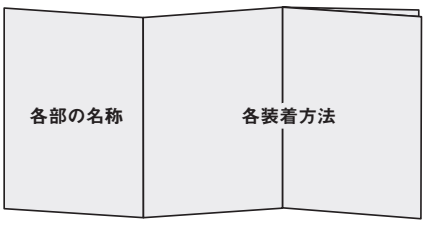
前向き抱っこの装着方法 …… P10
前向き抱っこチェックリストと降ろし方

おんぶ装着方法 …… P11～13

おんぶチェックリストと降ろし方 …… P13

ショルダーベルトの調節方法 …… P14
フィットベルトの調節方法
ゴムバンドでのまとめ方
フードの高さ調節方法

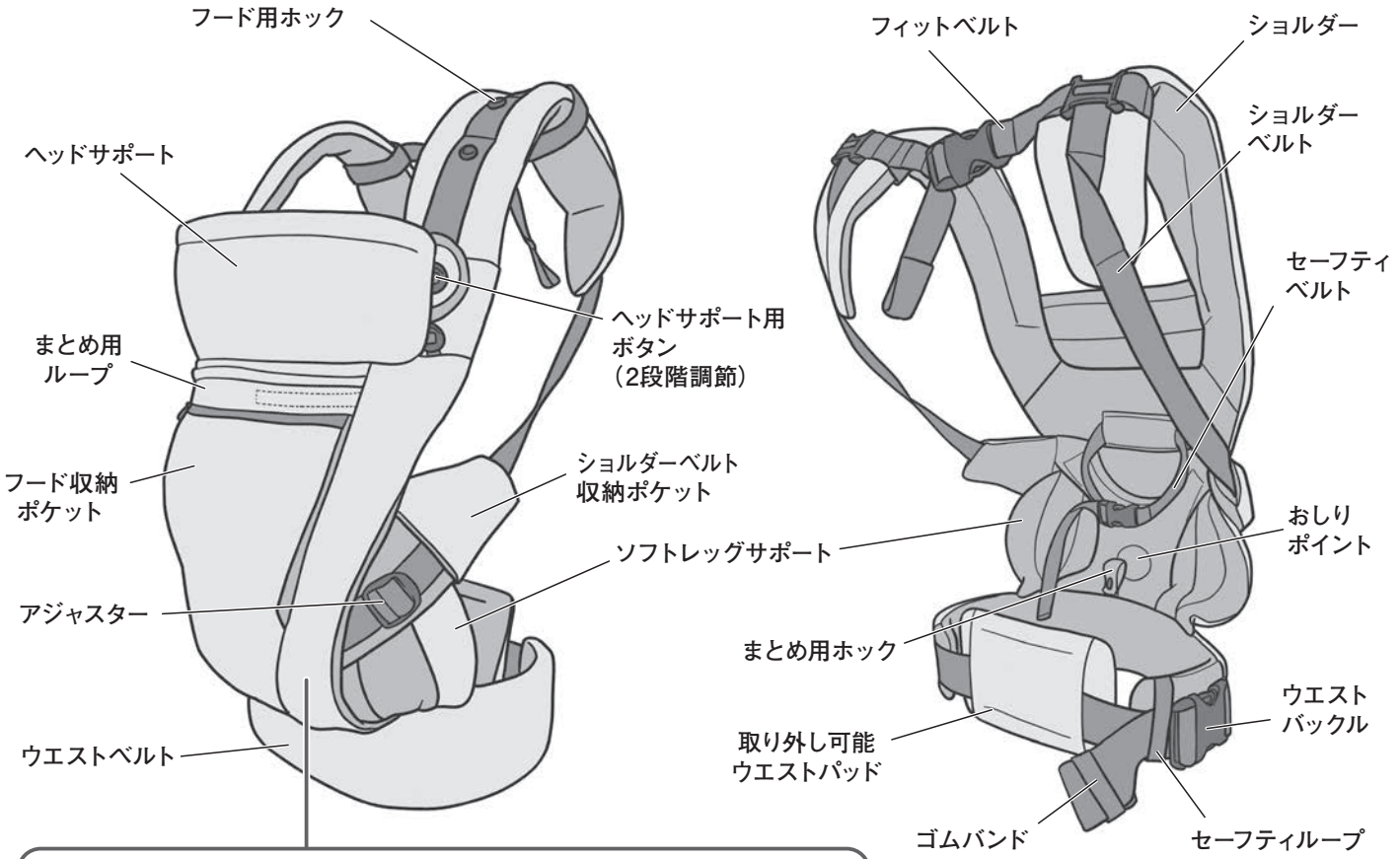
抱っこひもの収納方法 …… P15

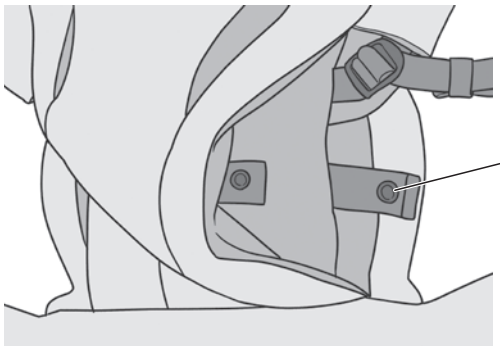


各部の名称を見ながら
各装着方法が
見開きでご覧いただけます。

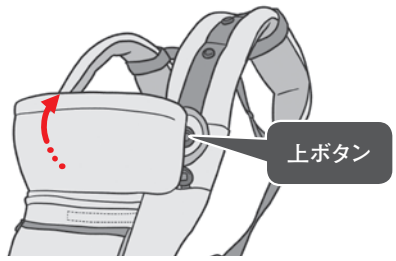
各部の名称

【ご使用前に必ずお読みください】 ※このページを常に開いて取扱説明書をご覧ください。

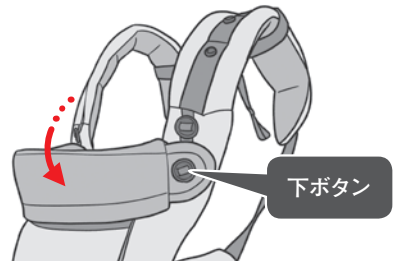




ヘッドサポート調節方法（2段階調節）



お子さまが眠ったときや頭部をサポートする必要があるとき、また首が座るまでは必ずヘッドサポートを立ち上げ、上ボタンにかけます。

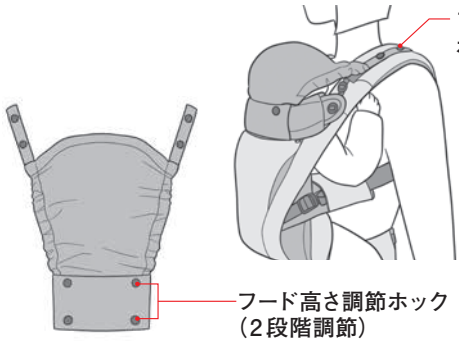


お子さまの頭部をサポートする必要がないときは、ヘッドサポートを外側に折り返し、下ボタンにかけます。

収納袋

洗濯ネットとしても
お使いいただけます。

フード （お洗濯時取り外し可能）



バックルの使用上の注意

- ●バックルは、必ずカチッと音がするまで挿し込んだことを確認してください。
- ●正しく挿し込まれていない状態で使用しますと、バックルが外れ、お子さまの落下事故につながるおそれがあります。
- ●バックルを挿し込んだ際に、生地等異物を挟んでいないことを確認してください。

安全にお使いいただくために

【ご使用前に必ずお読みください】

安全にお使いいただくために、使用前に必ず取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●お子さまが開口部から落下するおそれがあります。身体を傾ける際には、お子さまが落下しないよう手で支えてください。また、頭が下向きにならないよう腰を曲げるのではなく、膝を曲げるようにしてください。

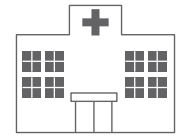
●正しく調節し、バックルなどの固定箇所を確実に締めてください。お子さまが落下するおそれがあります。

●使用中に大きく前かがみしないでください。お子さまが滑り落ちる可能性があります。

●生後14日（体重3.2kg以上／身長51cm以上）～首がすわる乳児期（4ヵ月頃）までは必ずヘッドサポートを立てて使用してください。
※0ヵ月から1ヵ月まではSGマーク制度の対象外です。
●お子さまの首がすわるまでの抱っこは、使用者とお子さまが向き合う姿勢でのみ、使用してください。

●生後4ヵ月未満の乳児は保護者の身体に顔を強く押し当てられると窒息するおそれがあります。
●乳幼児を保護者の身体に強く縛り付けずに、頭部を動かす余裕があるように装着してください。
●お子さまの気道をふさぐことがないなど、状態に注意しながら使用してください。

●早産児及び呼吸器疾患等のあるお子さまへは使用しないでください。ご使用については医師に相談してください。



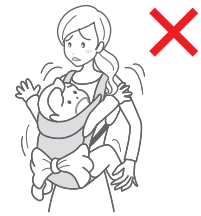
⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容を示します。

●着脱時は、可能な限り低い姿勢や安全な場所で行うようにしてください。他の人に介添えいただくとより安全です。

●おんぶ時は、目が届きにくくなりますので、特に注意してください。

●お子さまがそり返ったり、動いて安定しない場合は使用しないでください。



●使用前にバックル等の固定部が確実にとめられていることを確認してください。特に背中のバックルについては、バックルがとまっているか、必ず確認してください。
●装着後も緩みがないかを確認してください。

●使用前には、やぶれ、ほつれ、傷、バックルなどが破損していないか確認してください。また、破損している場合は使用しないでください。

●抱っこ時は、お子さまの頭で前方、特に足元の視界が妨げられないよう装着し、歩行時も注意してください。

●バックルの開口部またはすき間にお子さまの手指を入れないように注意してください。すき間に指が入って抜けなくなったり、傷害の危険性があります。未使用時もバックルが開口していないよう、はめ込んでおくようにしてください。

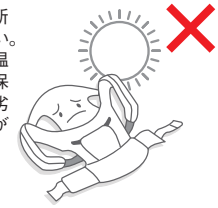
●授乳後30分間位はおなかを圧迫することがあり、消化吸収を助けるために、使用しないでください。
●連続して使用する時は、体調の変化や装着状況を確認する必要があるため、2時間以下の使用にしてください。
●体調がすぐれない時や、身体に痛みを感じる時は、使用しないでください。

●飛行機、車、自転車、バイクでは使用しないでください。

●思わぬ事故につながる恐れがあるため、家事の際はおんぶで使用し、大きく前かがみしないよう注意してください。
また、火気の近くでの使用はしないでください。

●汗や水で湿った状態で強い摩擦をうけると、他に移染するおそれがあります。

●直射日光のあたる場所に保管しないでください。また、車の中など高温になりやすい場所に保管しないでください。（劣化や変色するおそれがあります）



お手入れ方法

洗濯についてのご注意

- 洗濯については製品に縫い付けの組成表示ラベルをご参照ください。
- 洗濯機を使用する場合は、洗いのみ行ってください。またすべてのバックルを留め、ファスナーを閉めて洗濯ネットに入れて洗ってください。
- 蛍光増白剤入りの洗剤は使用しないでください。
- 色落ちする場合がありますので、他の洗濯物とは別けて洗ってください、つけ置き洗いも避けてください。
- 脱水機、乾燥機の使用はしないでください。樹脂部品が破損するおそれがあります。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布で汚れた部分を叩くようにして落としてください。

点検について

- ご使用前に、バックルなどの樹脂部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、傷がないことを確認してください。
  異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

保管方法

- バックルを留め、ファスナーを閉め、室内のお子さまの手の届かない場所で保管してください。

品質保証(アフターフォロー)について

- 使用方法などでご不明な点がございましたら遠慮なくご相談ください。
- お買い上げから1年間無料修理いたします。
- 購入してから1年以内にユーザー登録をしていただくと品質保証が2年延長されます。(実質3年保証になります)
- **必ずお買い上げ日を証明できるもの(レシート・明細書等)を保管してください。**
- 弊社までの送料はお客様負担となります。(初期不良の場合を除く)
- 初期不良・部品の欠品など弊社の責任によるものは弊社が負担いたします。
- 部品の在庫が無い場合は色や大きさがご希望に添えない場合がございます。

【保証の対象外となる場合の内容】

- お買い上げ日から１年以上過ぎた場合。
- お買い上げ日を証明できるもの(レシート・明細書等)がない場合。
- ２次使用（ご友人からのおさがり、リサイクショップ・フリーマーケットなどの中古品ご購入など）は保証対象外とさせていただきます。
- 自然の消耗・サビ・カビ・変色・虫食い等の製品の劣化。
- お客様の故意・誤った使い方やお手入れ・改造による故障や損傷。
- 火災や外部要因などによる故障や損傷。

アフターフォローの連絡先

ラッキーサポートダイヤル

TEL 0585-45-7425

受付時間：9:00～12:00　13:00～17:00（土、日、弊社定休日を除く）

ユーザー登録をしていただくと品質保証が2年延長

通常１年の品質保証に２年プラスされ、
合計３年間の保証になります。
抱っこひも・おんぶひもが対象となります。

[通常] **1年間保証** → プラス2年 → [ユーザー登録] **3年間保証**

LUCKY industriesユーザー登録は、こちらへ

https://lucky-industries.jp/support/registration/

SGマーク制度について

SGマークは、製品安全協会が定めるSG基準に適合するものとして認証された製品に表示される安全・安心マークです。SGマーク付きの製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。抱っこひもの場合は、お買い上げ日より3年以内が有効期間となります。

製品安全協会
東京都台東区竜泉2-20-2
ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300

SGマーク制度の適用対象月齢は以下のとおりです

- **たて抱っこ対面：生後1ヵ月～24ヵ月(体重13kg)まで**
- **たて抱っこ前向き：**
  腰がすわってから(7ヵ月頃)～24ヵ月(体重13kg)まで
- **おんぶ：**
  首がすわった乳児期(4ヵ月頃)～36ヵ月(体重15kg)まで

賠償についてのご注意

SG マーク付き製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。

製品の欠陥により事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。
(原則として事故発生日から 60 日以内に連絡してください。)

事故の届出に必要な項目

①事故の原因となった SG マーク表示の製品
　・製品の名前、ロット番号　・購入先、購入年月日
②事故発生の状況
　・事故発生年月日　・事故発生場所　・事故発生状況
③被害の状況
　・被害者の氏名、年齢、性別、住所　・被害の状況

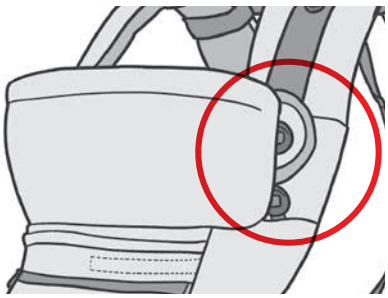
装着前準備

◇ヘッドサポートと股幅調節ホックの位置を準備します

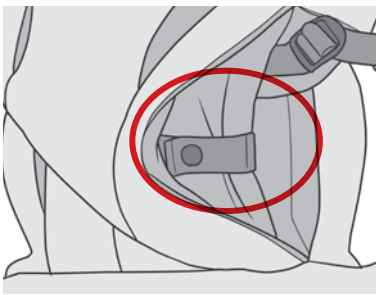
首すわり前の対面抱っこ

生後14日（体重3.2kg以上／身長51㎝以上）～首がすわる乳児期（4ヵ月頃）まで
※0ヵ月から1ヵ月まではSGマーク制度の対象外です。

ヘッドサポートを
立ち上げて
上ボタンにかけます。



股幅調節ホックを
留めます。



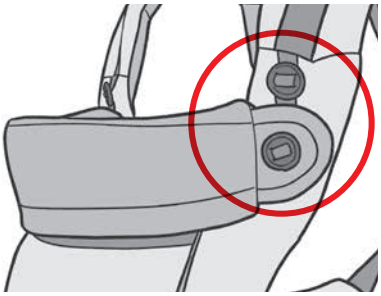
対面抱っこ

首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～24ヵ月（体重13kg）まで

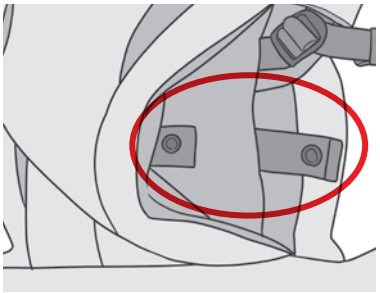
前向き抱っこ

腰がすわった乳児期（7ヵ月頃）～24ヵ月（体重13kg）まで

ヘッドサポートを
外側に折り返して
下ボタンにかけます。



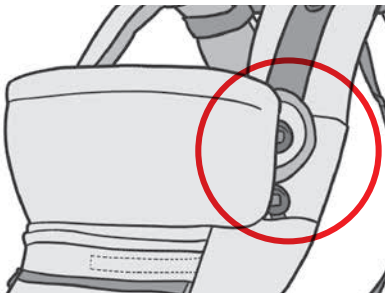
股幅調節ホックを
外します。



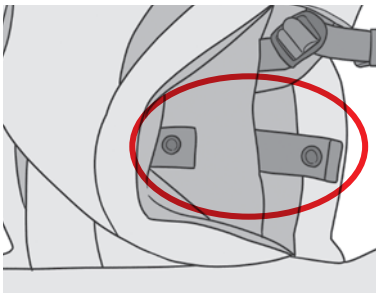
おんぶ

首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～36ヵ月（体重15kg）まで

ヘッドサポートを
立ち上げて
上ボタンにかけます。

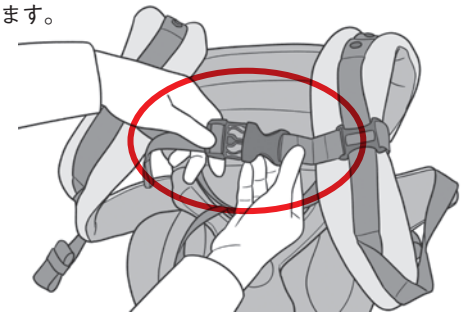


股幅調節ホックを
外します。

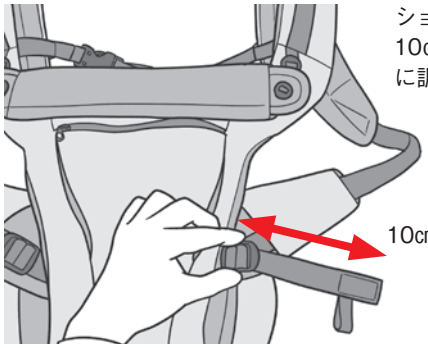


◇ショルダーを準備します

フィットベルトを
留めておきます。



フィットベルトの理想的な位置は P14 参照

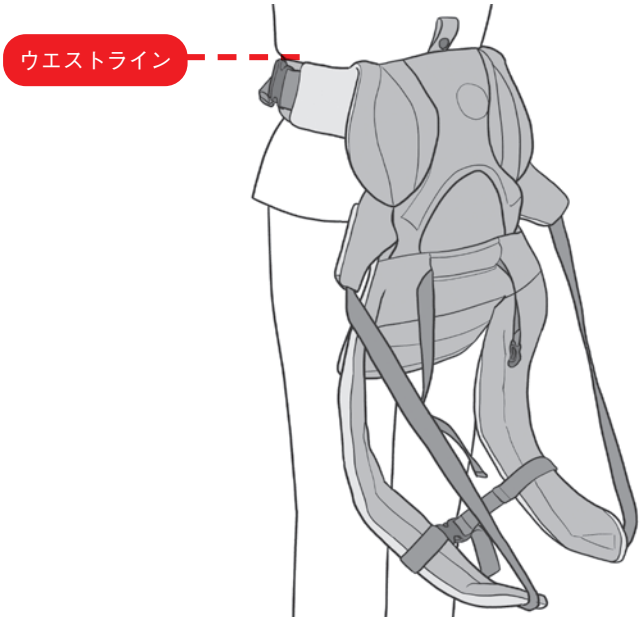


ショルダーベルトは
10㎝程の長さが残るよう
に調節しておきます。

ショルダーベルトの調節方法は P14 参照

ウエストベルトの装着方法

ウエストラインにウエストベルトを巻き付けるようにして、バックルを留め、ベルトを締めます。

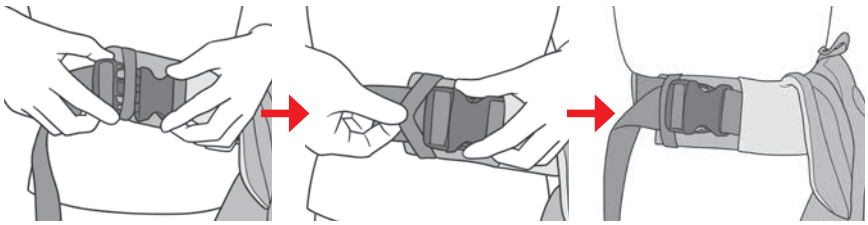


ベルトがねじれていないか確認してください。

ウエストバックルを必ずセーフティループに通して
留めてください。
下記のセーフティループの通し方参照ください。

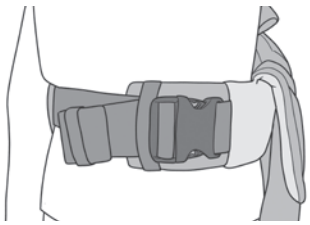
バックルは、必ずカチッと音がするまで
挿し込んだことを確認してください。

セーフティループの通し方



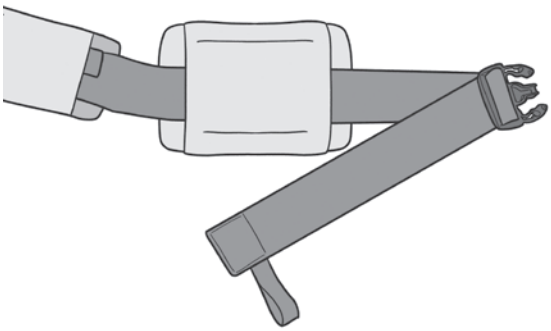
バックルをセーフティループに通して留め、ループを掛けてください。
ループをバックルで挟まないように注意ください。
ウエストバックルの外れ、落下防止になります。

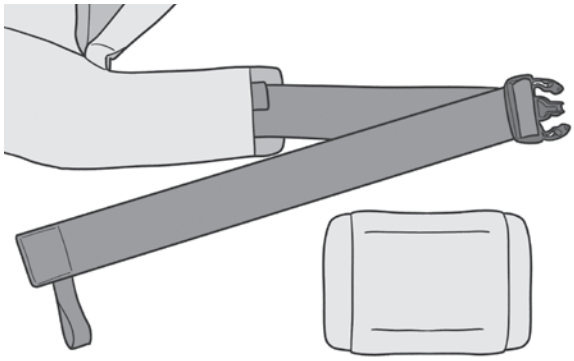
余っているベルトのまとめ方



余っているベルトの先端は
ゴムバンドでまとめられます。
P14 参照

ウエストパッドは取り外してご使用いただく事ができます。使用者のウエストサイズに合わせてご使用ください。





バックルの使用上の注意

- ●バックルは、必ずカチッと音がするまで挿し込んだことを確認してください。
- ●正しく挿し込まれていない状態で使用しますと、バックルが外れ、
  お子さまの落下事故につながるおそれがあります。
- ●バックルを挿し込んだ際に、生地等異物を挟んでいないことを確認してください。

対面抱っこの装着方法

生後14日（体重 3.2kg 以上／身長 51㎝以上）～ 24ヵ月（体重 13kg）まで
※0ヵ月から1ヵ月まではSGマーク制度の対象外です。

ヘッドサポートと股幅調節ホックの位置はお子さまの月齢にあわせて準備してください（P4参照）

首すわり前のお子さまは、使用者がソファーなどの背もたれに寄りかかりながら抱き入れますと
お子さまが自然に寄り添い安定した抱っこができます。

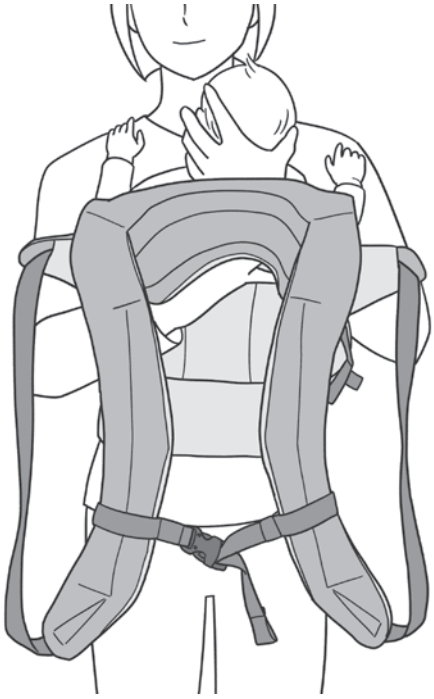
1 お子さまを抱き入れます

おしりポイントを目安にお子さまをまたがせます。

慣れるまでは
低い位置で
行ってください。

2 抱っこひもをかぶせます

片手でお子さまを支えながら
（首すわり前は頭を支えてください）
抱っこひもをお子さまの身体に
沿わせるようにかぶせます。



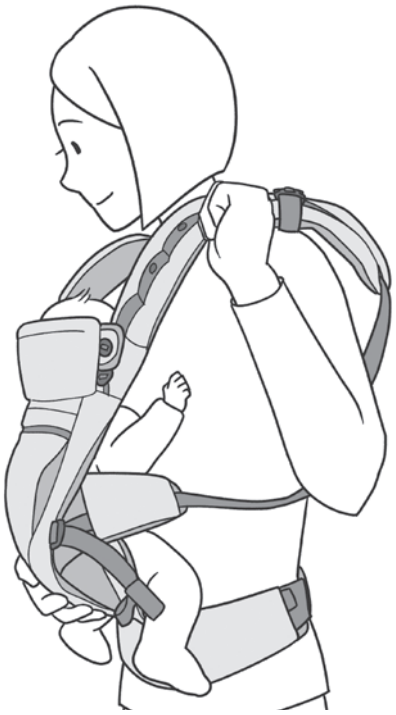
3 ショルダーを頭からかぶります

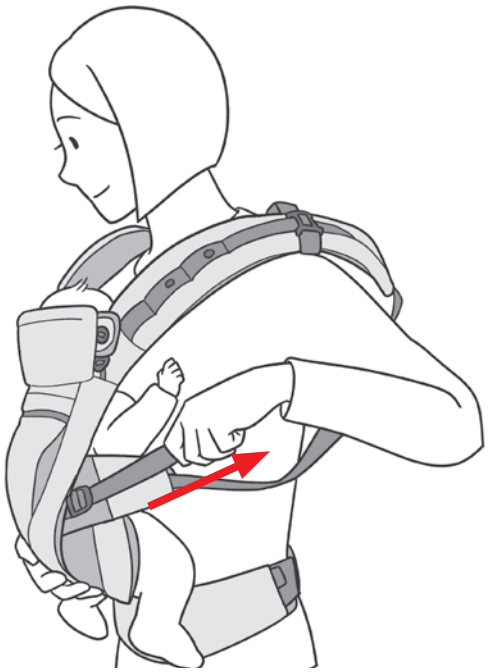
P4 のショルダー準備で留めた
フィットベルトを持ち上げて頭からかぶります。

ショルダーがねじれていないか確認してください。
（フィットベルトの理想的な位置は P14 参照）

4 左右のショルダーベルトを調節します（調節方法についてP14参照）

お子さまを片手で支えながら
使用者の身体に沿うようにショルダーベルトを引きます。
お子さまとの間に、手のひらが入るくらいが目安です。

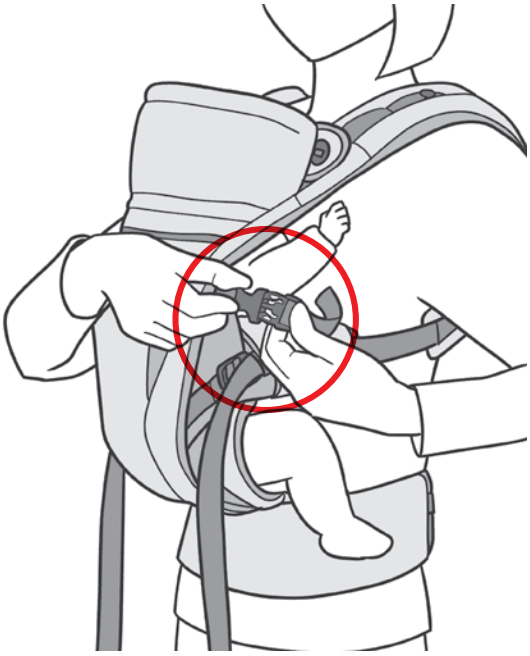




片手でお子さまのおしりを持ち上げるようにして
もう片方のショルダーベルトを締めます。

5 セーフティベルトを留めます

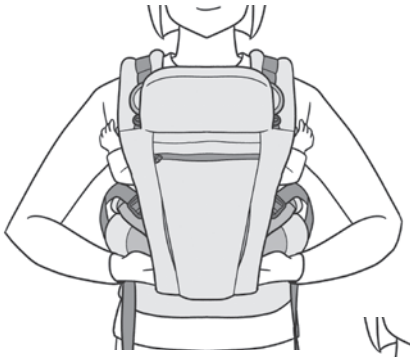
お子さまの脇の下でセーフティベルトを留めます。
指が３本入るくらいを目安に
強く締めすぎないように長さを調節してください。

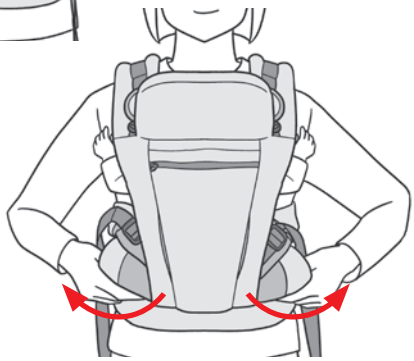


バックルは、必ずカチッと音がするまで
挿し込んだことを確認してください。

6 お子さまの位置や姿勢を整えます

お子さまのおしりからももあたりに両手を差し入れます。
お子さまの両足が使用者の身体に巻き付くように
もも裏をかきあげてください。



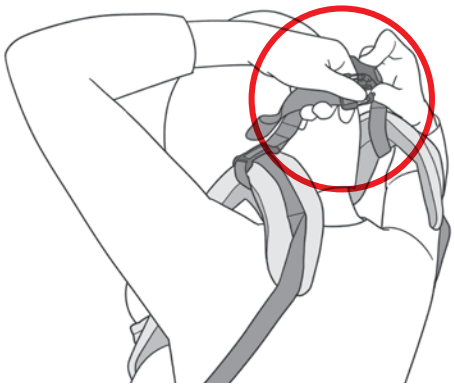


お子さまのもも裏に合わせて
ソフトレッグサポートを引き出します。

フィットベルトを外してショルダーを装着する方法

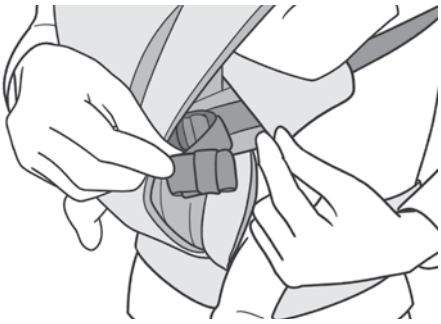
ショルダーベルトを長くしておきます。
お子さまを片手で支えながら左右のショルダーを肩に掛けます。

首の後ろに手をまわして
フィットベルトを留めます。

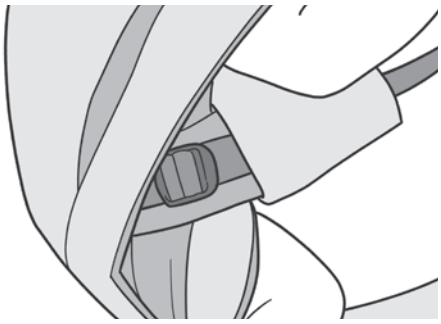


●ショルダーがねじれていないか確認してください。
（フィットベルトの理想的な位置は P14 参照）
●バックルは、必ずカチッと音がするまで
挿し込んだことを確認してください。

余ったショルダーベルトの収納方法



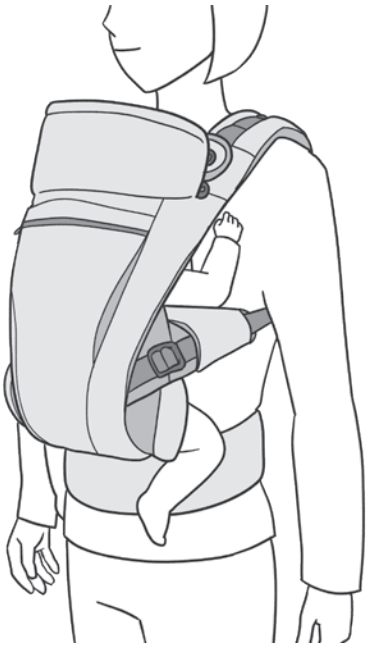
余ったショルダーベルトを
先端から丸めてゴムバンドでまとめます。
P14参照



ショルダーベルト収納ポケットに
収納ができます。

対面抱っこの完了です

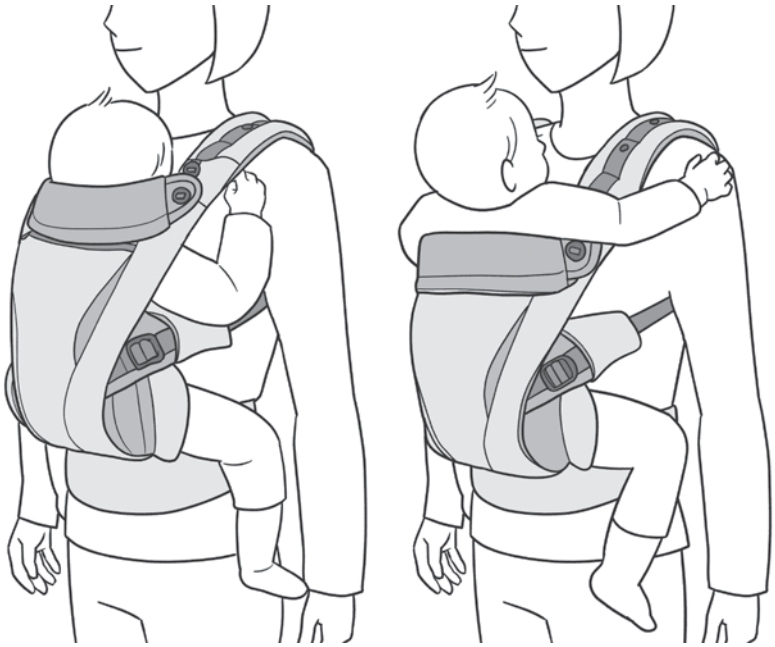
首すわり前



注意

- お子さまの頭が支えられているかを確認してください。
- お子さまの気道が確保されているかを必ず確認してください。

首すわり後



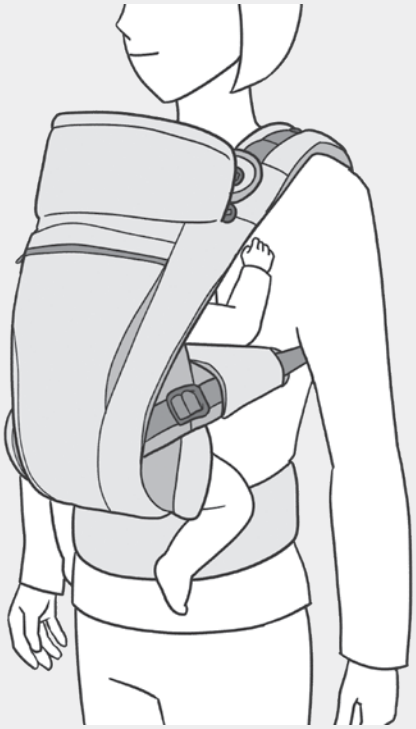
注意

- お子さまの気道が確保されているかを必ず確認してください。

首がすわったお子さまはショルダーからお子さまの腕を出して使用することもできます。

対面抱っこチェックリスト

- ☐ お子さまの顔に無理なく呼吸できるようなスペースが確保できていますか？
- ☐ ヘッドサポートと股幅調節ホックの設定は月齢にあっていますか？
- ☐ フィットベルトは留めていますか？
- ☐ ショルダーにねじれはありませんか？
- ☐ ウエストバックルはセーフティループに通した後に留めていますか？
- ☐ ソフトレッグサポートがお子さまのもも裏をサポートしていますか？
- ☐ お子さまの位置は中心ですか？
- ☐ ウエストベルトはウエストラインでしっかりと巻かれていますか？
- ☐ 使用者の視界をふさいでいませんか？



降ろし方…装着するときの手順を逆にして降ろします

前向き抱っこの装着方法

腰がすわった乳児期（7ヵ月頃）～24ヵ月（体重13kg）まで

ヘッドサポートは外側に折り返して下ボタンにかけ、股幅調節ホックを外します（P4参照）

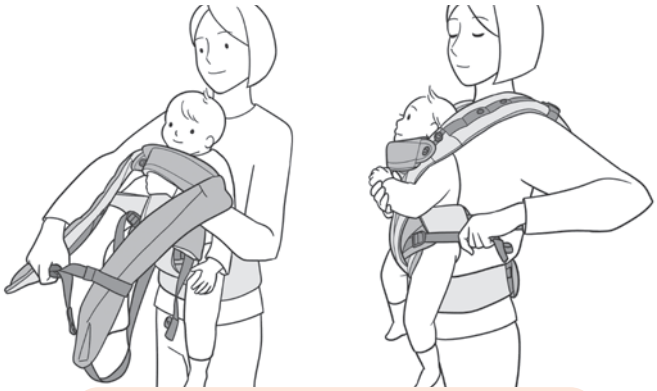
1 お子さまを抱き入れます

抱っこひもにお子さまを前向きにまたがせます。

慣れるまでは
低い位置で
行ってください。

2 装着方法は対面抱っこと同じです（P6.7参照）

ショルダーからお子さまの腕を出して使用することもできます。



ショルダーがねじれていないか確認してください。
（フィットベルトの理想的な位置は P14 参照）

前向き抱っこの完了です

注意

●お子さまの気道が確保されているかを必ず確認してください。

ショルダーからお子さまの腕を出して
使用することもできます。

前向き抱っこチェックリスト

- ☐ お子さまの顔に無理なく呼吸できるようなスペースが確保できていますか？
- ☐ お子さまの視界が確保されていますか？
- ☐ ヘッドサポートは外側に折り返して下ボタンにかかっていますか？
- ☐ フィットベルトは留めていますか？
- ☐ ショルダーにねじれはありませんか？
- ☐ ウエストバックルはセーフティループに通した後に留めていますか？
- ☐ お子さまの位置は中心ですか？
- ☐ ウエストベルトはウエストラインでしっかりと巻かれていますか？
- ☐ 使用者の視界をふさいでいませんか？

降ろし方…装着するときの手順を逆にして降ろします

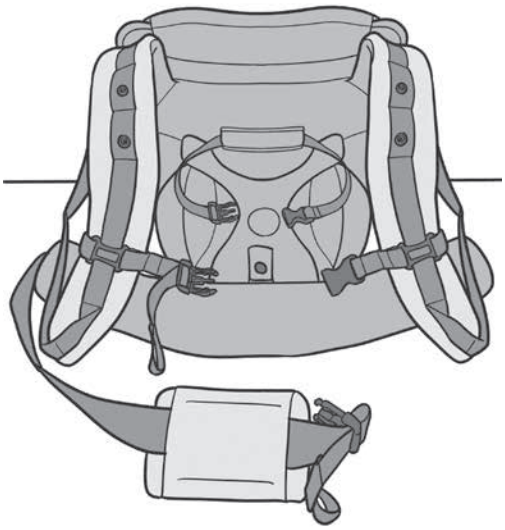
おんぶの装着方法　首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～36ヵ月（体重15kg）まで

装着前のチェック

お子さまの呼吸の妨げになるような服装（パーカー等）やヘアスタイルは避けてください。
髪の長い方はお子さまの顔にあたらないよう、横に束ねる等、工夫してください。

ヘッドサポートを立ち上げて上ボタンにかけ、股幅調節ホックを外します（P4参照）

1 あらかじめショルダーベルトとウエストベルトを長くしておき抱っこひもをソファーになどに置きます



2 お子さまを抱っこひもにのせてセーフティベルトを留めます

（指が３本入るくらいを目安に長さを調節します。）

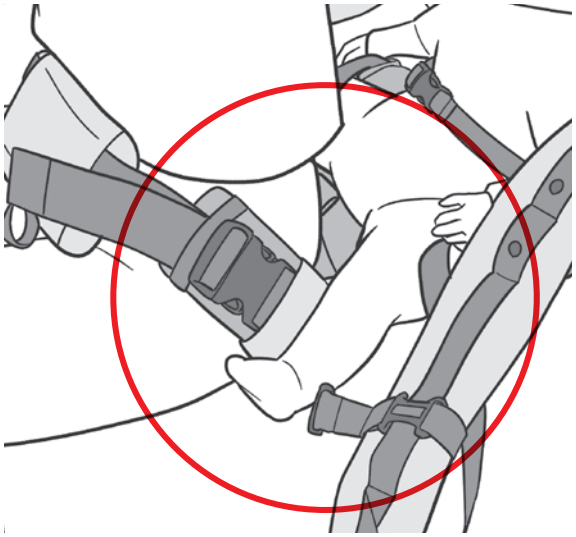
お子さまの腕と脚の位置を確認します。

3 ウエストベルトを装着します

ウエストバックルがセーフティループを通してあるか確認してください。

バックルは、必ずカチッと音がするまで挿し込んだことを確認してください。

4 お子さまの脚がウエストベルトに挟っていないかを確認してください



5

左右のショルダーに使用者の腕を通して
ショルダーを引き寄せて
お子さまを背負います

ショルダーがねじれていないか確認してください。

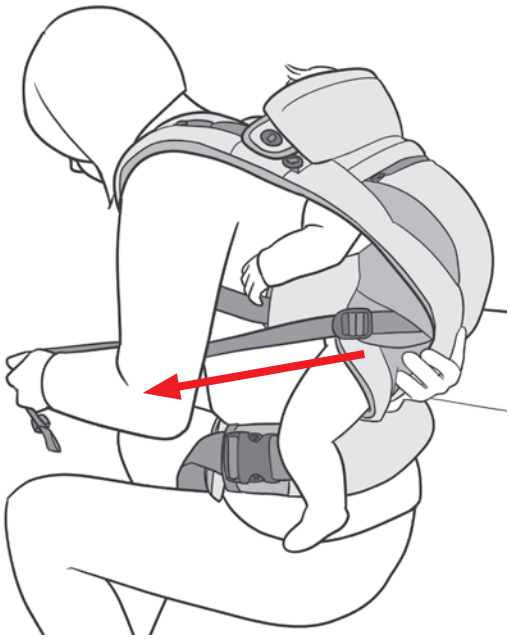
6

前かがみになりながら
フィットベルトを留めます

バックルは、必ずカチッと音がするまで
挿し込んだことを確認してください。

7

前かがみのまま
片手でお子さまを支えながら
もう片方の手で
ショルダーベルトを締めます



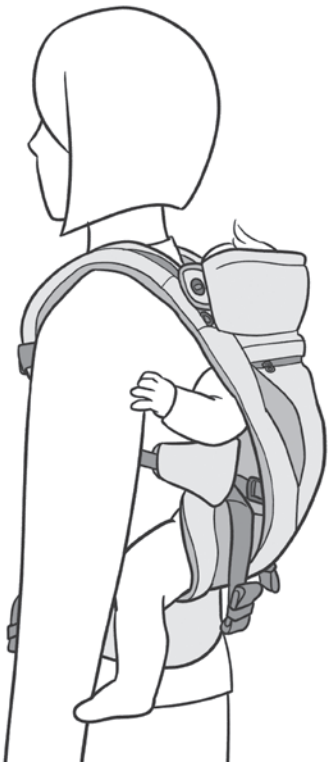
8

使用者のウエストの高い位置で
密着させるように
ウエストベルトを締めます

9 お子さまのもも裏に合わせて ソフトレッグサポートを引き出します

余ったショルダーベルトを
先端から丸めてゴムバンドでまとめます。
P14 参照

おんぶの完了です



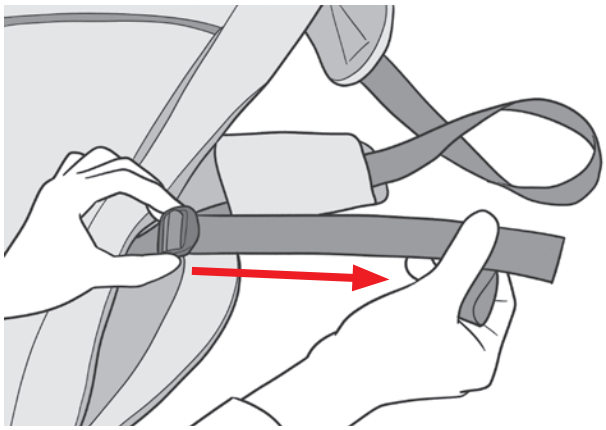
おんぶチェックリスト

- ☐ お子さまに使用者の髪がかかったり衣類で呼吸を妨げていませんか？
- ☐ お子さまの脚がウエストベルトに挟まっていませんか？
- ☐ ヘッドサポートを立ち上げて上ボタンにかかっていますか？
- ☐ セーフティベルトは留めていますか？
- ☐ フィットベルトは留めていますか？
- ☐ ウエストバックルは
  セーフティループに通した後に留めていますか？
- ☐ お子さまの位置は低くないですか？
- ☐ お子さまの位置は中心ですか？
- ☐ ショルダーにねじれはありませんか？
- ☐ ウエストベルトはウエストラインでしっかりと巻かれていますか？

降ろし方…装着するときの手順を逆にして降ろします

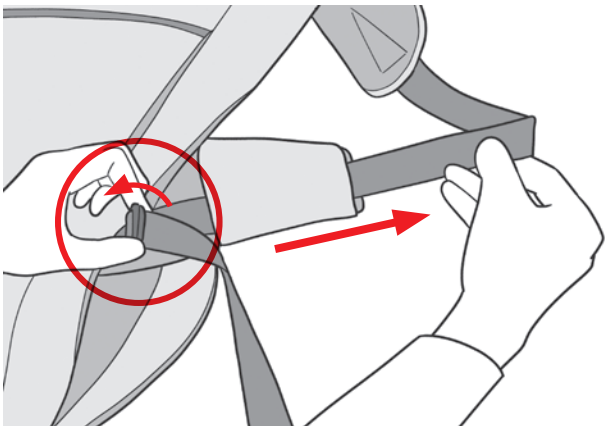
ショルダーベルトの調節方法

※各ベルトの調節にも応用していただけます。



ショルダーベルトの締め方

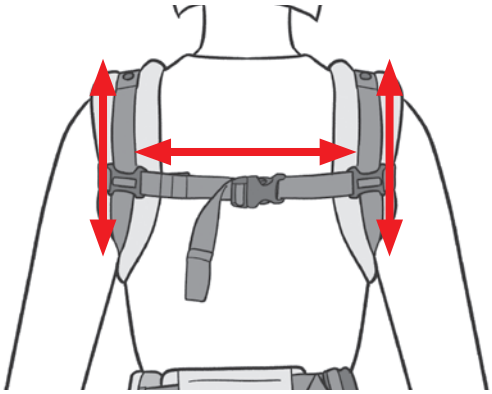
余っているベルトをベルトに沿うように
矢印の方向に引きます。



ショルダーベルトの緩め方

アジャスターを立たせながらベルトを
矢印の方向に引きます。

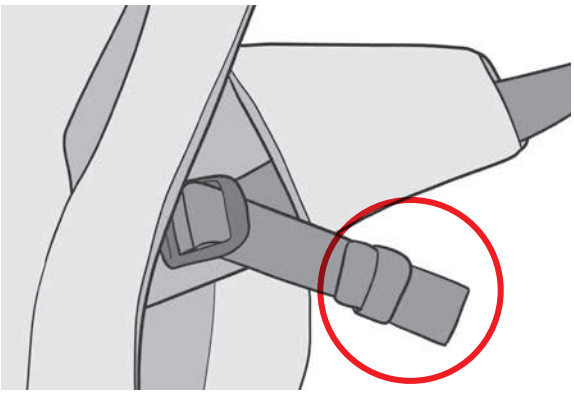
フィットベルトの調節方法



フィットベルトの位置

使用者の身体に合わせて高さと幅を調節できます。
イラストのように、肩甲骨の下あたりにベルトを調節すると
より快適にご使用いただけます。

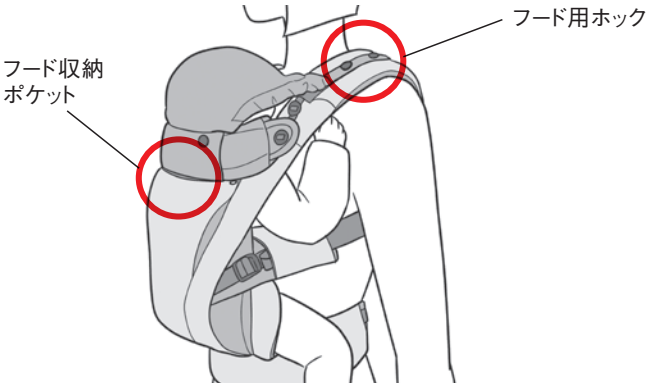
ゴムバンドでのまとめ方



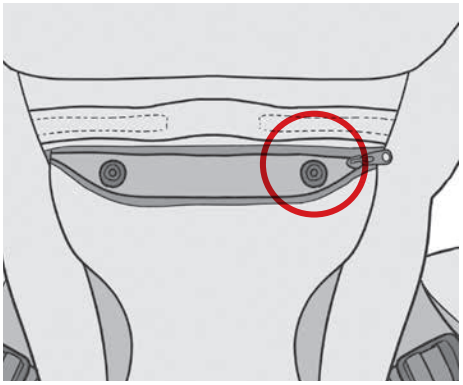
余っているベルトのまとめ方

余っているベルトを先端からくるくると丸めて
ゴムバンドで留めておくことができます。

フードの高さ調節方法（２段階調節）



日焼けや頭を支えるときにサポートとしてご使用ください。
フードは取り外してお洗濯することができます。



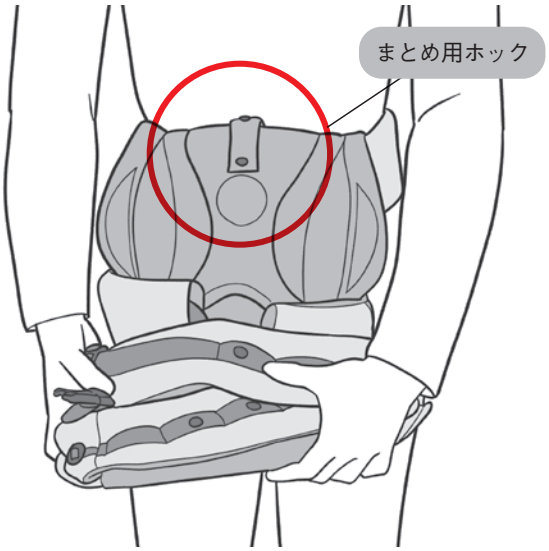
フード収納ポケット内のホックを留め、
高さを調節してください。

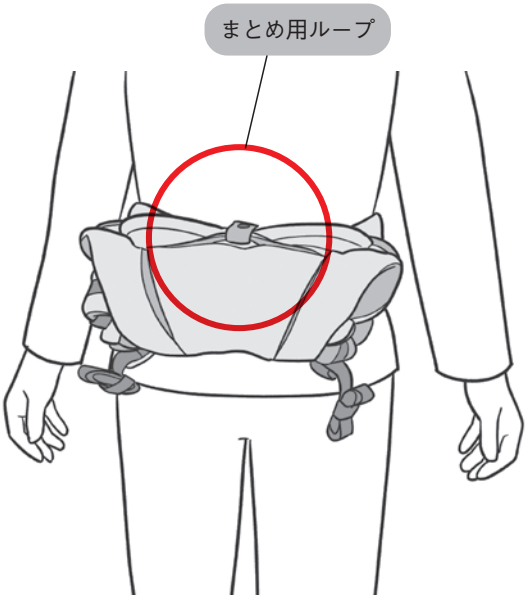
抱っこひもの収納方法

1

抱っこひもをウエストに装着したままでの収納

ショルダーなどを挟み込むようにして折りたたみます。
まとめ用ループにまとめ用ホックを通して固定します。

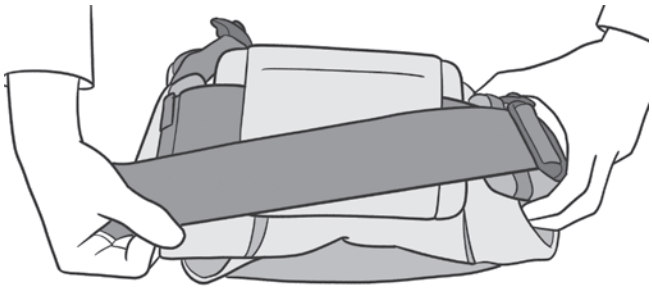


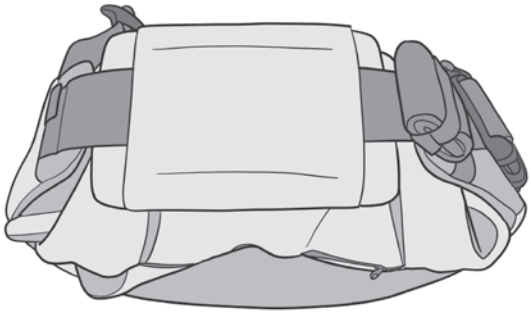


2

抱っこひもを外してからの収納

❶と同じようにまとめ用ホックをまとめ用ループに通して固定します。
ウエストベルトを巻き付けてウエストベルトバックルを留めてベルトを締めます。





★収納袋をご使用いただく場合には
　まとめずにそのまま収納することもできます。

収納袋は
洗濯ネットとしても
お使いいただけます。

ラッキー工業株式会社
〒503-2423岐阜県揖斐郡池田町青柳83-8　TEL：0585-45-7425
SG登録工場 第31-001号
生産物賠償責任保険（PL保険）付

［ホームページアドレス］

https://lucky-industries.jp/

https://www.facebook.com/luckyindustry/　@lucky_industries_official

※安全基準等により、仕様が予告なしに変わることがあります。
製品には万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら上記までご連絡ください。

TL00059
NP23-05